

リレー随想

息子が今でも、日付の入った色紙を大事に取っているのので、平成九年八月二十五日と分かるが、この日ヤワラちゃんこと田村亮子選手はじめ、数人の日本を代表する女子柔道の主力選手が、水前寺の武道館で強化合宿をした。

植木町のSさんという知り合いの人が、彼女のおばさんにあたるので、この日、合宿



田村 亮子選手

があることを教えてもらったのだが、Sさんは都合で来られないとのことだった。

Sさんとは同じ宗教の信者さん同士で、そうした会合の席で「いつかヤワラちゃんと一緒に写真撮ってあげるね」と、Sさんから息子が言ってもらい、さらに、Sさんと田村選手と仲良く写った写真をもらって、家で見えるところに飾っていた。

息子と娘、二人ともまだ小学

ヤワラちゃん見聞記 (Ⅲ)

土地家屋調査士

田口 一法さん



と、お願ひに行けるような状態ではなかった。
特に田村選手の人気は圧倒的で、常に何人かの取材の人が張り付いていた。

合宿の内容は地元の高校生女子柔道部員が、強化選手を相手に次々に掛かっていくというもので、熊本市内(あるいは県内)全部の女子柔道部員が集まったのではないかと思うような人数だった。

強化選手一人に対して三、四十人いたのではないだろうか、日本主力の選手とはいえ、数人を相手にするとさすがの選手たちも息が上がリ、後からは、投げこそできなかったが、高校生が強化選手を倒す場面も二、三見られた。

合宿の練習が終わると、それらの女子柔道部員や付き添いの父母、また私みたいなやじ馬が一斉に通路にあふれ出し、通路の一角に用意された机の所に、サインをもらおうと、多くの人が並んだ。その後田村選手だけ別室を写真スタジオみたいにして照明を当てられ、スチール写真を撮っていた。

「これじゃ、ヤワラちゃんとの写真は無理だな」。子ども二人にそう言うと、二人とも、しっかりとサインをもらっていた。
(熊本市花園、48歳)

生だが、田村選手と一緒に写真が撮れたらうれしかろうと、カメラ持参で張り切って武道館に行ったが、道場の中で選手たちが練習前のストレッチとか、柔軟体操をしている間にも、記者らしき人が選手の横で車座になり取材している風で、とても私みたいなのが「写真を一枚…」